

# 平成28年 4月1日より 小型家電の分別収集が始まります

市では昨年から「小型家電リサイクル法」により、デジタルカメラやゲーム機などの使用済小型電子機器の再資源化を促進するため、庁舎に設置してあるボックスでの回収やイベントにおける出張回収を行っていましたが、4月以降はごみステーションでの収集が始まります。

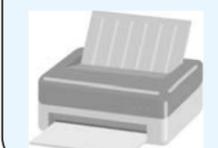
## 収集対象外の品目

※家電四品目・石油ストーブ・フロンを含む物

<b>テレビ</b> (ブラウン管式・液晶・プラズマ式) 	<b>冷蔵庫・冷凍庫</b> 
<b>洗濯機・衣類乾燥機</b> (洗濯乾燥機も含む) 	<b>エアコン</b> (室外機も含む) 

## 主な収集対象品目

※電池・電気を使う最大寸法 60cm 以下の物

<b>電話機・カーナビ・ラジオ</b> 	<b>デジカメ・ビデオカメラ・デジタルオーディオプレーヤー</b> 	<b>プリンター</b> 	<b>電動ミシン・電気ドリル・電卓</b> 
<b>炊飯器・電子レンジ</b> 	<b>扇風機・アイロン・掃除機</b> 	<b>電気ストーブ・ドライヤー・電気マッサージ器</b> 	<b>蛍光器具・時計・ゲーム機</b> 

個人情報を含む物はごみステーションに出さず、小型家電の回収ボックスに入れてください。小型家電の回収ボックスは市役所本庁舎のほか、各総合支所窓口にあります。

最大寸法が 60cm を超えるものは粗大ごみになりますので、ごみステーションに出せません。また、電池・蛍光管は外して有害ごみとして出してください。

◆問合せ先

本 環境課	☎(21) 2144	大 生活環境課	☎(43) 9211
藤 生活環境課	☎(62) 0905	都 生活環境課	☎(29) 1124
西 生活環境課	☎(92) 0308	岩 生活環境課	☎(55) 7763

【4月1日から】本 環境課 ☎(21) 2144 各総合支所 市民生活課窓口



- 本 本庁  
〒328-8686 万町9-25  
☎21-2316 FAX21-2673
- 大 大平総合支所  
〒329-4492 大平町富田558  
☎43-9205 FAX43-8818
- 藤 藤岡総合支所  
〒323-1192 藤岡町藤岡1022-5  
☎62-0900 FAX62-4625
- 都 都賀総合支所  
〒328-0192 都賀町家中5982-1  
☎29-1100 FAX28-0169
- 西 西方総合支所  
〒322-0692 西方町本城1  
☎92-0300 FAX92-2611
- 岩 岩舟総合支所  
〒329-4392 岩舟町静 5133-1  
☎55-7751(代) FAX55-4910

休日にお困りの時は  
本庁日直 ☎(22) 3535

## 市長通信



### 市の新しい組織機構②

#### 課の新設と再編

市民の皆さん、こんにちは。

先月から2回にわたり、この4月からの市の新しい組織機構についてご紹介しております。今回の改正では、今後本市が重点的に取り組んでいくべき課題に対応するため、新たな課の設置や組織の再編を行いました。ここではその中から、主なものを5つご紹介したいと思います。

#### ○「シティプロモーション課」の設置

定住人口や交流人口の増加を目指して本市のイメージアップを図っていくため、本市の魅力市内内外に発信し、都市ブランドを構築していく「シティプロモーション課」を設置いたします。

#### ○「蔵の街課」の設置

古い蔵の続く落ち着いた町並みは、本市の重要な地域資源です。蔵の街を活かしたまちづくりと重要伝統的建造物群保存地区の町並み保存や整備を更に推進する課として、「蔵の街課」を設置いたします。

#### ○「公共施設再編課」の設置

2月号の市長通信でもご説明しましたとおり、人口減少や厳しい財政状況が続く中で、公共施設の老朽化対策が喫緊の課題となっております。公共施設の複合化や集約を推進する課として「公共施設再編課」を設置いたします。

#### ○「こども未来部」の創設

これまで子育てに関する事業は「保健福祉部」において行ってきましたが、このたび「こども未来部」を創設し、「子育て支援課」と「保育課」の2課を置きます。これにより、本市の子育て支援をより一層充実させてまいります。

#### ○「建設水道部」の再編

建設関係事務の本庁への集約に伴い、現在の道路課・河川緑地課を、「道路河川整備課」「道路河川維持課」「土木管理課」「公園緑地課」の4課に再編します。特に、道路河川維持課には、先の関東・東北豪雨の被害による道路・河川等の復旧に特化した「道路河川災害復旧係」を設置し、対応にあたります。

以上が、今回の組織機構改正の主な内容となります。

桜の季節を迎え、暖かな春の陽気が心地よい季節となっております。新年度も、栃木市の更なる発展に向け、皆さんと共に頑張りたいと思います。

栃木市長 鈴木俊美

栃木ケーブルテレビで市長通信を放映しています。

## とちぎ未来アシストネット

### 「学校支援ボランティア」の力

基礎・基本の確実な学習を進めるためにはきめ細かな指導が必要とされますが、学校支援ボランティアが加わることで、一人一人の子どもにも多面的な支援が可能となり、学習がよりスムーズに進むことがあります。

もミシンの使い方の支援に入っている方々も、また、教師以外の複数の大人とのふれあいを通じて多様な学習機会が得られると共に、徐々にコミュニケーション力の向上が図られ、人と関わることの楽しさも学んでいきます。

写真は、家庭科の授業でミシンを扱ったときの一コマです。ミシンは、5年生で初めて経験するため、使い方がつまづいてしまう子が出てきて学習の進度差が気になってしまったり、思わぬ機械のトラブルにより教師が右往左往してしまうことも。そんなとき、

支援に当たったボランティアの方々には、子どもたちの好ましい人間関係が生まれるだけでなく、次第にボランティア同士の絆も強まっていきます。それが、地域活性化のひとつのきっかけとなればと思います。

◆問合せ先  
本 生涯学習課  
☎(21) 2488

